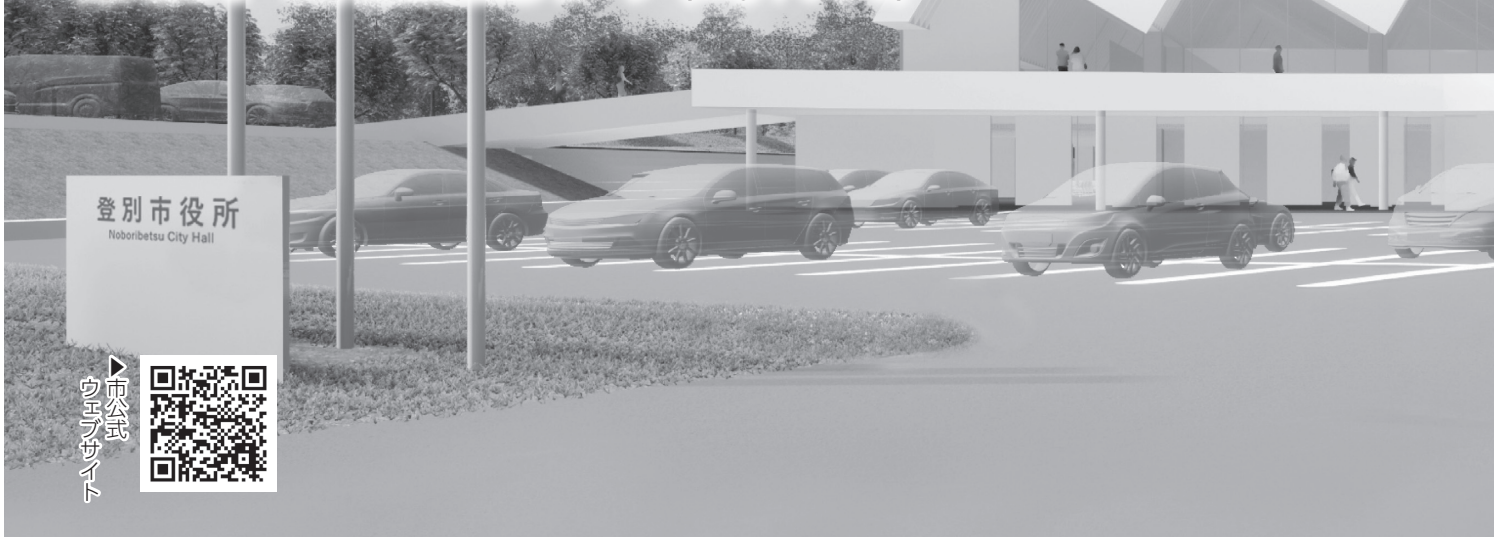


# 新しい本庁舎のお知らせ

問い合わせ 本庁舎整備推進グループ (☎57) 1098)



▲西側からみた新庁舎のイメージ

## 基本方針 4

### 快適で健康的な執務環境

- ・大きな一体空間の中に、異なる光や眺望をもった執務環境をつくります。
- ・部署間や職員間の縦割り意識の撤廃や職員間のコミュニケーションの活性化を図り、さらにグループ内連携も充分に取ることができるよう、職員が専用机を持たないフリーアドレス制を基本とし、併せてグループアドレス制やA B W<sup>\*1</sup>の考え方を取り入れた執務環境を計画します。
- ・職員の業務効率を向上させるため、打ち合わせにも活用できる休憩スペースを設置します。
- ・執務室の衛生環境を確保するため、手洗いや歯磨きコーナーを設置します。

※1 A B W：業務内容に合わせて、働く場所を自ら選択できる働き方。

▼見通しの良い執務空間のイメージ



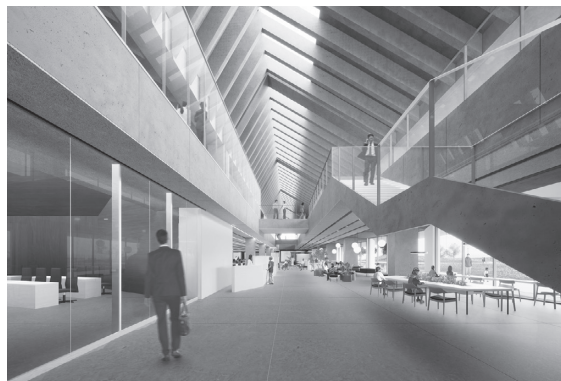
## 基本方針 5

### 登別の気候風土にふさわしい庁舎

- ・次世代の庁舎建築にふさわしい消費エネルギーの小さい庁舎を目指します。
- ・自然光や通風などの自然エネルギーを活用した『パッシブ』手法と、高効率の設備機器を活用した『アクティブ』手法を組み合わせることで、消費エネルギー全体を削減します。
- ・最新の省エネ技術と創エネ技術を組み合わせることでNearly ZEB<sup>\*2</sup>を達成します。

※2 Nearly ZEB：快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一時エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建築物『ZEB』のうち、再生可能エネルギーによりエネルギー消費量を75%削減した建築物。

▼ひかりのみちからの自然光と吹抜け空間による自然換気





登別市本庁舎  
建設基本設計書

市は、市役所本庁舎を旧市営陸上競技場の敷地に建て替える『市役所本庁舎建設事業』を進めており、『登別市本庁舎建設基本計画』などに基づき、新庁舎建設工事の基礎となる基本設計書の作成を進めてきました。

このたび、地域や団体との意見交換や地区懇談会、パブリックコメントなどの意見を踏まえ、新庁舎の基本方針や機能、建物の配置、構造、各階のレイアウトなどをまとめた『登別市本庁舎建設基本設計書』を策定しましたので、広報のぼりべつ5月号と6月号で基本設計の概要についてお知らせします。

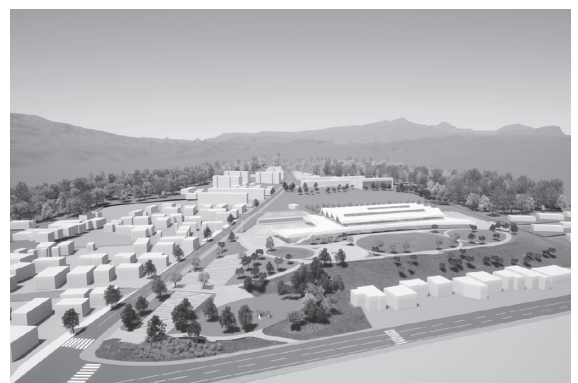
今後も引き続き、『市民の安全安心を守り、市民が集い、協働のための庁舎』の実現を目指し、より詳細な検討を進める実施設計を進めていきます。

## 基本方針 6

### 防災機能に優れた安全安心な庁舎

- ・津波や風水害などの非常時に市の防災拠点として機能し、安全安心な市民を守る庁舎とします。
- ・災害発生時においても行政機能を維持し、防災関係機関とスムーズな連携が図ることが可能な庁舎を整備します。
- ・あらゆる災害に対応できる鉄筋コンクリート造の庁舎とします。
- ・庁舎と連続するひろばを津波災害時等の緊急避難場所として整備します。

▼市の防災拠点として高台に位置する新庁舎と防災ひろば



## 現在の市役所庁舎跡地の利活用について

現在、中央地区のまちづくりの根幹となるコンセプト（目指すべき方向性）を決めるため、ワーキンググループを中心に、学生委員会とも連携しながら協議を進めています。

本市において過去にまちづくりを進めてこられた方のお話や、これまでに市民・事業者などからいただいたご意見を基に、ワーキンググループにおいて、コンセプトの協議を進めてきました。

今後は、ワーキンググループで取りまとめた案を基に、協議会のご意見もいただきながら、コンセプトを決定していきたいと考えています。

協議内容については、市公式ウェブサイトに掲載していきますので、ぜひご覧ください。



市公式  
ウェブサイト



▲協議の様子